

桜島の火山活動解説資料

福岡管区気象台

地域火山監視・警報センター
鹿児島地方気象台

＜噴火警戒レベル3（入山規制）が継続＞

桜島の南岳山頂火口では、本日（9日）05時38分に爆発が発生し、多量の噴煙が火口縁上5,000mまで上がり、北東方向に流れました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、雲のため不明でした。

本日実施した現地調査及び電話による聞き取り調査では、鹿児島市、姶良市、霧島市、湧水町及び宮崎県と熊本県の一部でこの噴火に伴う降灰を確認しました。桜島島内で大きな噴石は確認できませんでした。

桜島では、南岳山頂火口を中心に、引き続き噴火活動が継続すると考えられます。

【防災上の警戒事項等】

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

平成28年2月5日に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表しました。その後、警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図1）

南岳山頂火口では、本日（9日）05時38分に爆発が発生し、多量の噴煙が火口縁上5,000mまで上がり、北東方向に流れました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、山頂から8合目（南岳山頂火口より500mから700m）付近にかかる雲のため不明でしたが、8合目付近より麓側では確認されませんでした。

桜島で火口縁上5,000m以上の噴煙を監視カメラにより観測したのは、2019年11月8日17時24分に南岳山頂火口で発生した爆発による火口縁上5,500m以来です。なお、6月4日の爆発に伴う噴煙は、気象研究所の解析によると、火口縁上約8,000m以上に上がったと推定されています。

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

（<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>）

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び九州地方整備局大隅河川国道事務所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』『基盤地図情報』『基盤地図情報（数値標高モデル）』『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

・地殻変動の状況（図3）

桜島島内に設置している傾斜計及び伸縮計では、昨日（8日）21時頃から山体膨張を示すわずかな地殻変動が認められましたが、本日05時38分の爆発により概ね解消しました。

・降灰の状況（図2）

本日実施した現地調査及び電話による聞き取り調査では、鹿児島市、姶良市、霧島市、湧水町及び宮崎県と熊本県の一部でこの噴火に伴う降灰を確認しました。桜島島内で大きな噴石は確認できませんでした。



図1 桜島 8月9日05時38分の南岳山頂火口の噴火の状況（牛根監視カメラ）

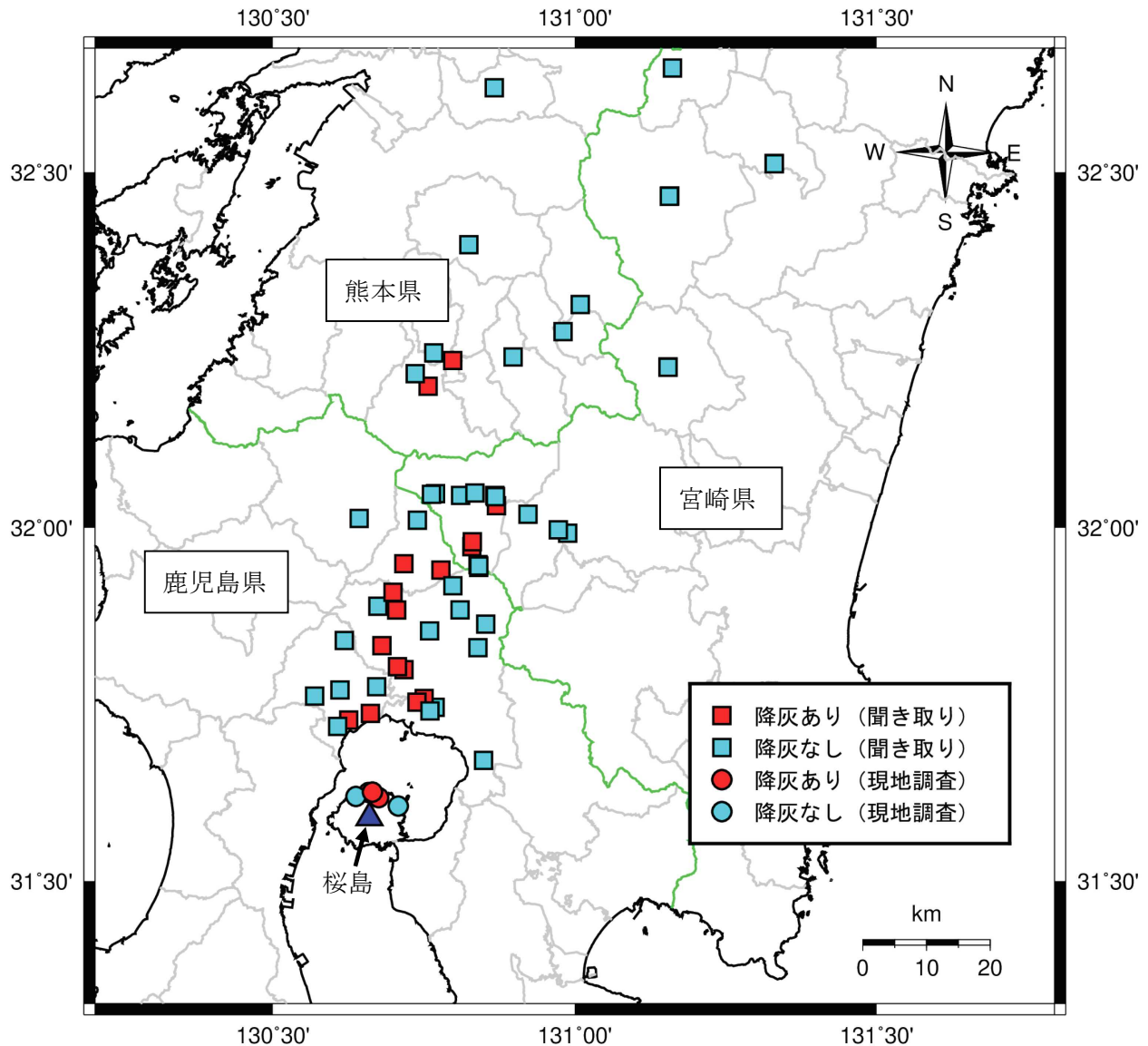
噴煙が火口縁上5,000mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、山頂から8合目付近にかかる雲のため不明でしたが、8合目付近より麓側では確認されませんでした。

※噴煙の色の違いは、中に含まれる火山灰量の違いに起因するとみられます。



図2-1 桜島 降灰の状況（鹿児島市桜島白浜町で観測）

- ・鹿児島市桜島白浜町での現地調査の状況（2020年8月9日10時07分頃、左図）
- ・鹿児島市桜島白浜町での現地調査の状況（2020年8月9日10時12分頃、右図）
- ・桜島白浜町では、約300g/m²の降灰を観測しました。
- ・桜島島内で大きな噴石は確認できませんでした。



国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用

図 2-2 桜島 降灰の状況

本日実施した現地調査及び電話による聞き取り調査では、鹿児島市、姶良市、霧島市、湧水町及び宮崎県と熊本県の一部で降灰を確認しました。

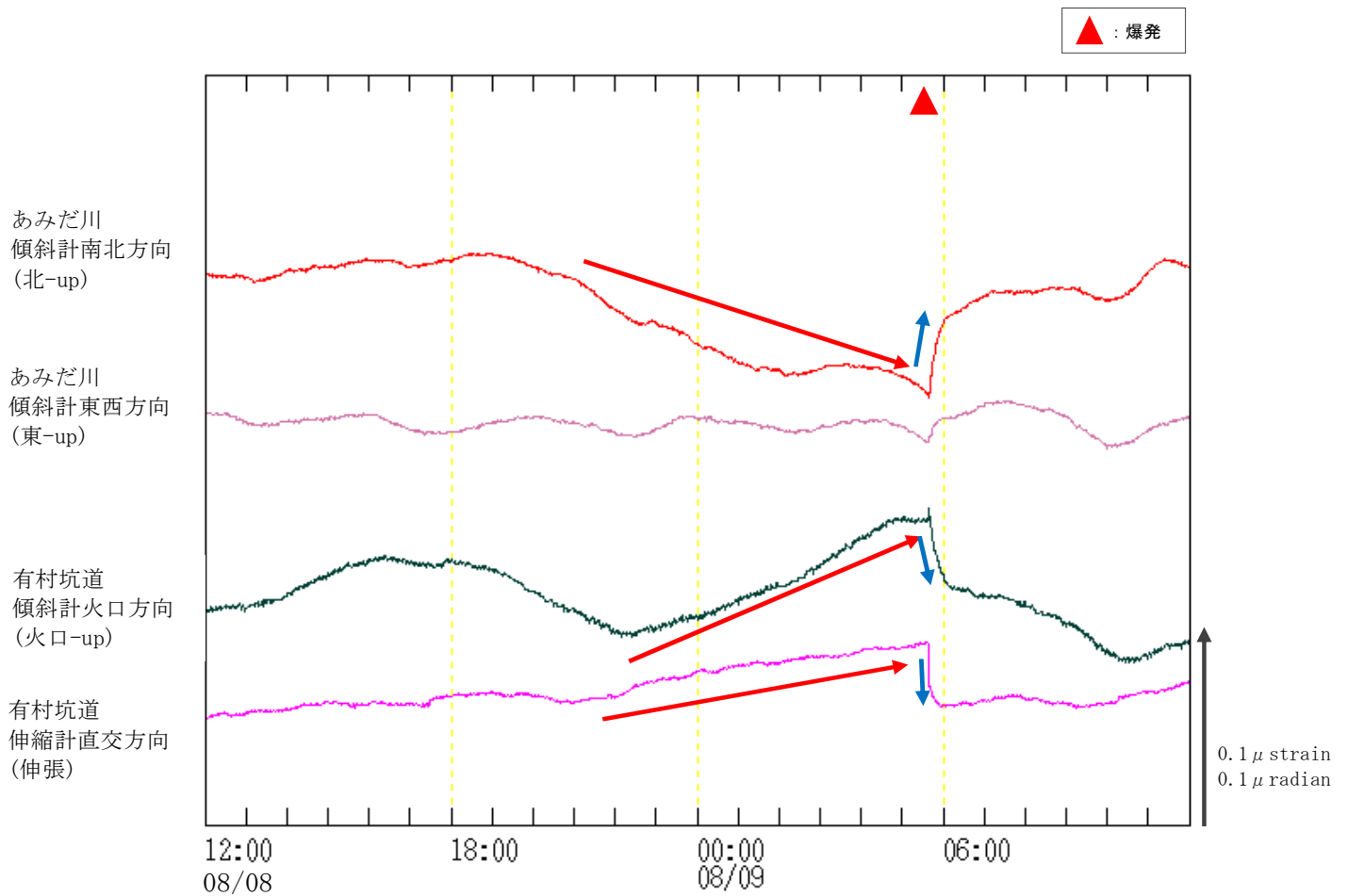


図3 桜島 傾斜計及び伸縮計による地殻変動の状況（2020年8月8日12時～9日12時）

桜島島内に設置している傾斜計及び伸縮計では、昨日（8日）21時頃から山体膨張を示すわずかな地殻変動が認められましたが、本日05時38分の爆発により概ね解消しました。

※図の作成には、大隅河川国道事務所の有村観測坑道の観測データを使用しています。